

平成 22 年 5 月 20 日現在

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2006～2010

課題番号：19330109

研究課題名（和文）ライフコース・社会的ネットワークの実証分析 歴史的視点から

研究課題名（英文）Life course and social network from a historical perspective: An empirical analysis

研究代表者

黒須里美（KUROSU SATOMI）

麗澤大学・外国語学部・教授

研究者番号：20225296

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：社会学・社会学

キーワード：歴史人口学、ライフコース、イベントヒストリー分析、世帯、社会的ネットワーク、結婚、死亡、飢饉

### 1. 研究計画の概要

本研究は、近世から近代移行期の 200 年に着目し、徳川期の人口史料を利用することから、庶民のライフコースと、社会的・地理的移動を中心とした社会的ネットワークについて、そのパターンと要因を解明することを目的としている。具体的には以下の 3 本柱で進める。

(1) ライフコース分析：結婚・出生・移動・死亡などの人口学的イベントについて、形式人口学的分析やイベントヒストリー分析を用い、そのパターンと要因構造を多層的・多角的に明らかにする。これらについて都市と農村、農山漁村間、また地域（東北、中央、西南）・社会・時代による比較をめざす。

(2) ネットワーク分析：社会学のネットワーク分析の方法を家族・世帯形成に応用し、結婚・養子縁組による社会階層的移動、地理的移動を明らかにすることから、社会的ネットワークの広がりについて考察する。

(3) 史料整理とデータ構築作業：上記二つの分析を可能にすべく、宗門改帳・人別改帳を中心とする史料整理とデータベース構築を行い、分析のためのフラットファイルを整備する。

### 2. 研究の進捗状況

(1) ライフコース分析：先行研究のある福島県の二農村の死亡分析の研究成果をベースに、そのアプローチを他地域に適用し、比較分析を試みた。死亡、結婚については、都市と農村でレベルが違うが、決定要因には共通性があることがわかった。地域経済、世帯

の社会経済的レベル、同居家族が重要であるとともに、時代的变化も明らかとなった。天明・天保の飢饉に代表される危機的状況が人々のライフコース（特に死亡と移動）に与える影響を明らかにした。これらについては、学会・論文発表を行うとともに、同時代における中国、イタリア、スウェーデン、ベルギーなどのコミュニティとの比較も進めている。

(2) ネットワーク分析：試験的に明治初期多摩地域の史料を利用し、「ネットワーク分析」の結婚形成への応用を試みた。社会的階層、出身村が結婚形成に影響することなどが明らかになった。リスク人口を考慮した本アプローチの斬新さが認められ、雑誌論文（査読付）として近日刊行される。

(3) 史料整理とデータ構築作業：福島県の農村と在郷町の人別改帳を中心とするデータベース構築と分析のためのフラットファイルを整備した。長野県の長期に続く宗門改帳を中心とする史料の整理と入力を進めた。西南地域の代表として長崎県の農漁村史料のデータベース構築と、その近隣都市の宗門改帳の整理と入力を進めている。

### 3. 現在までの達成度

<区分> おおむね順調に進展している。

福島県のデータを利用したライフコース分析については、特に在郷町と農村という比較軸を中心に順調に成果が上がっている。しかし、その他の中央・西南地域については、やや遅れ気味であるため、とした。中央・西南地域の分析が遅れている理由として、(1)

計画当初に予定していたリレーショナルデータベースによるプログラミングに精通した適任の協力者が得られなかったこと、(2)当研究が扱う時代における人口史料特有の地域性を理解するのに時間がかかっていること、(3)複雑な史料整理と入力のための研究補助員のトレーニングに時間がかかったことがあげられる。

#### 4. 今後の研究の推進方策

(1)ライフコース分析：過去3年間の成果、特に東北地方の詳細分析を中心に他地域を比較対象とし、多角的、多層的に200年間の庶民のライフコースの考察を行い、成果報告をめざす。

(2)社会的ネットワーク分析：社会学におけるネットワーク分析の結婚分析への応用、長期的データへの応用、という新しい方法論を明確にし、新プロジェクトの可能性を鑑みて農村データを利用した分析を試みる。

(3)中央、西南地域のデータについては、引き続き時間、マンパワー、資金の許す範囲で入力とデータ化を行い、本年度末までに整理できたものについて、地域性比較のための指標を作成する。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

##### [雑誌論文](計10件)

Tsuya, Noriko O. and Satomi Kurosu 2010 “Family, Household, and Reproduction in Two Northeastern Japanese Villages, 1716-1870” pp.249-285 in Tsuya, Noriko, Wang Feng, George Alter, James Lee et al., *Prudence and Pressure: Reproduction and Human Agency in Europe and Asia, 1700-1900*. Massachusetts: MIT Press. (査読付)

Kurosu, Satomi 2009 “Marriage, Divorce and Remarriage in a Stem Family System: Women in Two Northeastern Japanese Villages, 1716-1870” in Fauve-Chamoux, Antoinette et al. (eds.) *House and the Stem Family in Eurasian Perspective*. Bern: Peter Lang. (査読付)

黒須里美 2009 「近代移行期における結婚と出生の地域差と階層差---単年史料活用の試み---」統計 特集:歴史と統計 60(7): 27-32.(査読なし)

Kurosu, Satomi 2007 “Remarriage in a Stem Family System in Early Modern Japan.” *Continuity and Change* 22(3): 429-458. (査読付)

[学会発表](計12件)

[図書](計2件)

Kurosu, Satomi, Tommy Bengtsson, Cameron Campbell (eds.) 2010 *Demographic Responses to Economic and Environmental Crises*. Reitaku University. (310pages)

[産業財産権]

出願状況(計0件)

取得状況(計0件)

[その他]  
なし